

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

画像解析ソフト Image J を用いた悪性脳腫瘍の 5-ALA 輝度解析

1. 研究の対象および研究対象期間

2019年4月1日—2024年3月31日に当院で悪性脳腫瘍の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

悪性脳腫瘍の安全で確実な外科治療のために、当施設では摘出率を最大限高める目的で、5-アミノレブリン酸（5-ALA, アラベル）を術前に投与しています。本研究において、悪性脳腫瘍の手術中における 5-ALA 陽性所見を画像解析ソフト Image J を用いて詳細に解析することで、脳腫瘍の種類や現行の Stummer が用いている陽性所見の分類との相違を明らかにして、より詳細な検証を行うことを目的とします。当院におけるこれまでの 50 例を超えるデータをもとに解析を行い、悪性脳腫瘍のより安全で確実な手術、治療に寄与できる成果を示すことが期待されます。症例の収集、解析は昭和大学 医学部 脳神経外科学講座が担当いたします。

研究期間

「昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、研究機関の長の研究実施許可を得てから 2024 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診断病名、病理組織診断、遺伝子診断、既往歴、現病歴、治療内容など

データ：術中動画データ、Image J による輝度解析データ、脳画像データ（MRI、CT など）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部脳神経外科学講座 氏名：近 貴志

住所：142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8605

研究責任者：近 貴志